

ご要望に応え、2007年4月1日より
個人・学校向け 販売開始！（分売あり）

国際理解教育の第一歩

シリーズ 在日外国人問題の原点を考える ①歴史編 ②現状編 ③展望編

③展望編

出会い

在日コリアン三世と日本の若者たち

文部科学省選定 教育映像祭優秀作品賞

30分



②現状編

オモニの想い

在日コリアンの戦後、そして今

文部科学省選定

30分



①歴史編

ハルモニたちは踊る

在日コリアン一世が歩んだ道

文部科学省選定 教育映像祭優秀作品賞

30分



■規格 ビデオ

■販売価格 個人・学校向け 各編 15,000 円（税別）

ライブラリー向け・団体使用権付 各編 35,000 円（税別）、3 編セット 100,000 円（税別）

すいせんのことば

内海 愛子

恵泉女学園大学 人文学部国際社会文化学科教授
平和文化研究所長

「目に見える」在日外国人が増えている。その中で、在日コリアンの姿が見えにくくなっている。その存在は知っていても、具体的なイメージがない。同世代の在日コリアンの悩みながらたくましく生きる姿を描いた展望編「出会い」は、大学生の間で大きな反響をよんだ。映像をとおして伝わる在日コリアンの悩み、それはどこかで自分と通じ合うものがありながら、「在日」としての固有な問題もある。その解決をともに担うにはどうしたらいいのか、学生が話しあいをはじめた。

三部作は、それぞれの世代に共感をよびおこし、見終わった後に、自分に何が出来たのか、何をしなければならぬのか、考えさせる力をもった作品である。

野口 克海

子ども教育広場代表
園田学園女子大学国際文化学部教授

人権学習というのは、頭で学ぶものではないらしい。本ものの生き方をしている人との出会いがたくさんあるのがのぞましい。このビデオでは、在日コリアン一世、二世、三世それぞれの生の声が心に響く。一世の幼少時代の渡日の経緯、二世の保護者としての想い、三世の悩みなど、当事者の体験や想いが、ストレートに伝わってくる。ストレートに表現されているからこそ、人権を心で学ぶことができる。いちばん身近な外国人である在日コリアン。にもかかわらず、かれらについて本当に理解している日本人はあまり多くない。職場での研修や、学校現場での国際理解教育の教材として、このビデオを広く活用することをお薦めする。

在日外国人問題の原点を考える ①歴史編 ②現状編 ③展望編

①歴史編

文部科学省選定 教育映像祭優秀作品賞

30分

ハルモニたちは踊る ～在日コリアン一世が歩んだ道～

在日コリアン二世の徐玉子（ソ・オクチャ）さんは、一世のハルモニ（おばあさん）たちの介護を続ける中で、彼女たちの半生を知ることになった。家が貧しかったため、11歳の時、たったひとりで朝鮮半島から日本に移り住んだ李正児（イ・ジョンア）さん、10歳で紡績工場へ働きに行かされた金小順（キム・ソスン）さんなど、過酷な少女時代を送ったハルモニたちは、苦しい時も悲しい時も歌い踊ることでたくましく生き抜いてきた。

日本の朝鮮植民地支配のため、意に反して日本で暮らさざるをえなくなった在日コリアンの歴史を、日本人に正しく知ってもらうことが共生への第一歩と考え、徐玉子さんはハルモニたちの人生を記録に残すことを始めた。



②現状編

文部科学省選定

30分

オモニの想い ～在日コリアンの戦後、そして今～



兵庫県生まれの申点粉（シン・チョンブン）さんは高校生と大学生のふたりの子どものオモニ（おかあさん）。しかし日本人の母親にはない心配をいつも抱えている。それは、外国人登録証明書の常時携帯義務、公務員採用時の国籍条項など、国籍の違いで子どもたちの将来に様々な壁があることだ。

戦後、日本政府により一方的に日本国籍を剥奪された在日コリアンは、長い間、国籍の違いによる差別に苦しんできた。在日三世、四世の若者たちが国籍や民族の違いを理由に差別されない日本社会を願って、申点粉さんはオモニとしての想いを語る。

③展望編

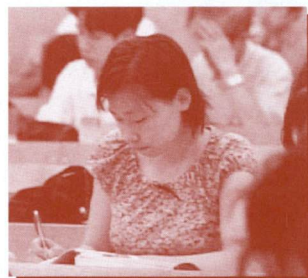
文部科学省選定 教育映像祭優秀作品賞

30分

出会い ～在日コリアン三世と日本の若者たち～

鄭亜美（チョン・アミ）さんは今年、二十歳。東京の大学で学ぶ在日コリアン三世だ。そんな亜美さんが常に心を痛めていることがある。ほとんどの日本の若者が在日コリアンに関心がないことだ。在日コリアンに悪いイメージを持つ日本人もいて、差別を避けるために、本名を隠して日本名で暮らしている若者もいる。

そうした中で、民族の違いを認め合い、友情を深めている在日コリアンと日本人の若者たちもいた。亜美さんと日本の若者たちはその「出会い」のなかから、お互いのルーツを見つめ合い、真に共生できる未来を模索し始めた。



制作・販売元 株式会社 桜映画社

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-1 千駄ヶ谷ビル4階

TEL：03-3478-6110(代) FAX：03-3478-5966